

「高校の魅力化とはなにか」

校長 升田 重樹

今回は主に、この書面をご覧いただいている地域の皆様に発信させていただきます。

本校の現在の全校生徒数は128名です。各学年のクラス数は2クラスですが、令和2年度の入学生は40名を超えることができません(35名)、今年度は1クラスとなりました。少し辛らつな話になりますが、全国の高校生数は1989年をピークに減少の一途をたどっています。生徒が減れば、公立高校も運営を継続していくことが困難になります。その結果、全国的に高校の統廃合が進んでおり、北海道も例外ではありません。

よく「高校の魅力化」という言葉を聞きます。**高校の魅力化とは、文字通り高校を魅力的にすることです。中学生(受験生)たちがそこで学びたいと強く思い、地域の方々に心から必要とされる学校になることです。**但し、言葉で言うのは簡単なことですが、魅力化とはそうたやすいものではありません。本校では地域(美瑛町)の特色とキャリア教育をリンクさせることで、生徒の進路に対する意識の高揚を図っています。地域の関係機関や優れた人材の力をお借りし、地域の魅力や課題を学ぶとともに、その解決方法を生徒たちが考え、実践する授業としています。今年度、地域の行事がほとんど中止になっておりますが、ボランティア業務等の参加など、地域の一員として活躍することの充実感を得ることもねらいとしています。本校における地元の生徒の割合は35%と決して多くはありませんが、地元と他の市町から来た生徒とともに高校生活を送ることで、新たな人間関係を構築したり、多様な価値観や考え方を相互に発見したりすることも期待しています。地域と連携したキャリア教育やボランティア活動もそうですが、同じ生徒でも、授業中と部活動中とで表情が異なることがあるように、地域の人と関わっているときも、生徒は別の顔を見せるものです。様々な角度から見ないと本当の人間像は浮かんでこないものです。そういったことから地域の力と支えは学校を運営していく上で必要不可欠なものなのです。

本校では美瑛町から就学支援制度をはじめ、様々なサポートをいただいております。先に高校の統廃合について触れました。厳しい言い方になりますが、生徒数が減少するということは、学校の存続に関わってきます。今後、北海道の高校は、地方や都市部に限らずどの学校や地域も生徒数の増加は期待できません。

本校も小規模校としての魅力化とは何かを基本に、**学校の方向性と全体構想を見直すことが必要となってくると考えております。**

本校では今年度から進学講習が具体的に始動しました。又、新たにバスケットボール部が発足して初の大会参加、新生徒会執行部からは、学校の活動をよりよく活発にする活動案がだされました。これらの動きは今までなかったものです。生徒及び教職員の意欲向上が伺えます。このように教育活動を少しずつ充実し、学校の魅力化につなげることが今できることです。本校では昨年度から学校ホームページをリニューアルし、積極的にタイムリーな情報発信に努めています。これをご覧いただければ学校や生徒の様子がわかりやすく理解していただけるものと考えております。「美瑛高校」と検索するだけでつながります。どうか興味本位でも構いませんので覗いていただければ幸いです。

今後も本校の教育活動に対しての地域の皆さまの御理解と御協力をいただきますよう、よろしく願い申し上げます。

インターンシップクラス発表

11月12日(木)本校1年生が実施したインターンシップの報告会を実施しました。町内や近隣の事業所15カ所に分かれ、実習を通して学んだことを発表しました。1人あたり4分程度の持ち時間において、誠実に発表する生徒、場を和ませながら楽しく発表する生徒等、バラエティに富んでいました。このクラス内発表で優秀な発表をした生徒を代表として、12月16日(水)に報告会を行います。詳細が決定次第、ご協力いただきました企業様や本校の関係者各位に改めてご案内申し上げます。



失敗は人の価値を決めない、失敗の後がその人の価値を決める

唐突ですが、学校生活を送っている中で「失敗」してしまうことってあると思います（中には自分が「失敗していることに気づいていない」状態の人もあるようですが）皆さんはそんな時にどうしてますか。失敗してしまったときは、恥ずかしいと思うかもしれません。情けないと思うかもしれません。実際私（教頭）も人には言えない失敗を何度もしましたし、その度に恥ずかしい思いや情けない、悔しい思いをしてきました。

何故そのようなことを書いたかという、最近読んだ本の中に標題の言葉がありました。人間は誰も失敗したいと思いませんし、なるべくなら自分の思い描いた通りに物事が進む方が良く考えるでしょう。でも、準備が不十分だったり、やりかたがまずかったり、知識や技量が足りてなかったり、本当に運が悪かったり等、自分が原因の場合、その他どうすることもできない要素が原因で失敗してしまうこともあります。そんな時にその人がどのように行動しているかで、その人の人生を左右していると最近しみじみ思うのです。

「失敗したときに原因を探す」ここまではごく当たり前の思考だと思いますし、原因を突き止めなければまた同じ失敗をしてしまうでしょうからそれ自体は良いと思うのですが、その原因をどこに当てててるかがとても重要だと思うのです。もっとわかりやすく言えば、**失敗を自分以外の「誰かのせい」「何かのせい」にし**

てませんか？もちろん、本当にそういう場合もありますし、その場合は大変運が悪かったと思いますが、大抵失敗は失敗するなりの原因があります。そこをきちんと自分で見つめ直し、次に活かせるかどうかを考えてみてほしいのです。その失敗の結末に至る前に、最善の準備や努力をしていたでしょうか？自分が進みたい方向に協力してもらえよう、周囲の人たちに優しさや配慮を配っていたでしょうか？それをまずしっかりと見つめ直す癖をつけてほしいのです。

また、失敗してしまった時に、**迷惑をかけた人たちに心から「ごめんなさい」と言える**でしょうか？「言わなくても伝わる」関係もなくはないですが、多くは口に出さなければ何を考えるかなんて他人には伝わりません。ましてや失敗した時に何もなければ相手に謝意は伝わりません。言い換えれば失敗してしまった時に**それを「認める勇気」そして周りに「お詫びや感謝を言葉にして伝える勇気」**



が必要だと私は思います。誤解を恐れず言えば、どんな時でも誠実に失敗に向き合い、必要な時にきちんと謝ることができれば、大人として自分の人生を歩んでいけると思います。

冒頭にも書いたように、どんな人でも失敗はしたくないでしょう。しかしながら生きてる以上、**多かれ少なかれ必ず人は失敗します。その失敗にどのように向き合うのか、どのようにリカバリー（信頼や状況の回復）をするのかがその人の真価です。**だから、失敗自体は恐れる必要ありません。一生懸命頭と体を使って、難



問に果敢に挑戦していいのです。そして万が一失敗してしまったときに、「何が足らなかったのか」「次はどうすればいいのか」を考えて、また次の一歩を踏み出してほしいのです。

繰り返しますが、人間は誰も失敗します。その失敗そのものを恐れるのではなく、失敗と正面から向き合ってほしいと思うのです。失敗と上手に付き合うことができるようになったら、それは人として強くなった証拠です。失敗を恐れず、色々挑戦してみてください。

保護者各位

新型コロナウイルス感染症の猛威は依然として続いており、特に札幌の感染状況は他の都府県と比しても高止まりが続き、今一度気を引き締めなければならぬ状況と言わざるを得ません。是非ご家庭でも新型コロナウイルス感染症の予防について、確認と予防策の徹底をお願い申し上げます。

また、これからどんどん寒くなっていけば、感冒（いわゆる風邪です）やインフルエンザに罹患するお子さんも出てくるのが予測されます。

新型コロナウイルス感染症の予防の観点という意味でも、他の感染症等を防ぐ意味でも、マスクの着用の徹底と手洗いやうがい、並びに規則正しい生活（きちんと睡眠や食事を摂ること等）を心がけるようご家庭でのご指導をお願い申し上げます。

